No. 28.8.7 婦人倶楽部 受

浄書ズミ

二

みい

お父さま、おめでとう［ございます。］四十九になられ

[illegible]

~~[illegible]は、四十九[illegible]私と[illegible]~~

~~[illegible]が[illegible]とか[illegible]~~

お父さまがどうして新しい奥さんを[illegible]

[illegible]片山先生を[illegible]をおとりかはしになったのです。

[illegible]

[illegible]一日も一日ね。待ってゐますか

片山先生が[illegible]
[illegible]以外
の和服の中へ入
って来て下さるのは
初めてです。
あの、乱暴な
姉さんの三郎
までも、先生と
慕ってゐる……

お父さまが一日も早くもらふのを。そして、私は

今日こそ、[illegible]大人

の人を[illegible]捨てて[illegible]娘と、[illegible]

理由を言ふことができるのです。

女である[illegible]噂の[illegible]の、それは、

[illegible]流れてくる[illegible]でございます。[illegible]

[illegible]三郎が[illegible]で[illegible]がするといふので、私は

[illegible]師の[illegible]しまって[illegible]

が、[illegible]知った。[illegible]

[illegible]中から、お父様と、

伯爵の

食堂

大臣府[illegible]の